

【1日目】 3月16日（土） ※評価の〔 〕書きは、審議員（外部有識者）の評価です。

| ②生涯学習センター | | |
|--|----------------------------------|--|
| 評 価 | | 評価に添えられた意見 |
| (1) 譲渡・廃止 | 0 | |
| (2) 国・県・広域で維持管理 | 1 | ○ 町民評価員 町外利用者が多く好立地なため、県などが管理運営すべき（図書館は町が運営） |
| (3) 琴浦町改善 | 28 [3] | |
| | (3-1) 削減・配置見直し 9 [1] | ○ 町民評価員 地区公民館と合併し、各種事業を集約(重なる文化的事業が多い)／住民目線では、同種の企画を公民館、生涯学習センターが実施しているように思える／4F、5Fの展示ホールが多すぎるので会議室にする／調理実習室、茶室は廃止／ |
| | (3-2) 管理・運営活用見直し 22 [3] | ○ 町民評価員 指定管理者制度が必要／指定管理者制度を導入しても図書館は区分／教育長が施設管理者を兼務していることでなおざりとなっていないか（専任の施設長が必要）／直営であれば、兼任ではない施設長を設けて活用を考える／ひとを集客する企画・魅力あるアイデアを真剣に考えていく経営力が必要／町外利用者の利用料を上げる／維持管理経費の見直し(随意契約が多い)／図書館は、2つも必要ない（本館、分館）／歴史民俗資料館が5Fにあるが町内でも知られていないため、もっと広く知らせるべき／子どものプレーパーク（雨天の遊び場がない、電車体験など）／学校帰りの自習・学習の場としての機能を充実／利用スペースの見直し／不要な（利用率の低い）スペースは見直しが必要／赤碕分館を廃止し、移動図書を増やす／開館時間を元に戻す（時間を延長）／図書館司書資格者を増やす／稼働率の低い部屋は、民間の事務所として貸出／駐車料をとる／まずは、中が見えるようドアを変える（通路から部屋の中が見えれば、会員でない方にも活動に興味を持ってもらえる）／近隣の店舗との具体的な連携が必要／図書館の蔵書の内容は、ポリシーがほしい／利用者数の少ないスペースが利用されない原因を考えるべき／ ○ 審議員 幅広い位置づけで町民が活用できるようにする／複合施設、駅直結のメリットをさらに生かせる工夫が必要／図書館は、非常勤(非正職)中心の運営でよいか再検討／指定管理者制度の活用を検討（自主事業は町で実施）／各部屋のあり方を抜本的に見直しつつ、ソフト事業のあり方も学びが拡大するような展開が必要／図書は、まんべんなくそろえるのではなく、どこかに注力した戦略性をもつことが不可欠／公立校の図書館との連携を密にしながら図書館としてのパフォーマンスを上げていくことが重要／利用の少ない部屋の用途転用／地区周辺と関わりを持った仕掛け／一部を普通財産にして可能性を広げる／ |
| | (3-3) その他の見直し 17 [1] | ○ 町民評価員 地元業者・生産者の直売の場として活用／若者の集まりやすいイベントが必要／カフェが必要／国や県に比べ町直営の方が町民の意見が反映される／今の現状は少し元気がない／営利(貸し館)と非営利(住民文化活動)は曜日を分けて双方のニーズに応える／駅前商店街との連携／駅前商店街と連携し、図書館利用者にクーポン券の配布／利用申請、利用状況の確認をスマホでできる仕組みの構築が必要（システムは申込みができなければ、意味が無い）／利用率の低い部屋をイベント等を行っている企業へ貸し出す／歴史民俗資料館の定期的な開館を計画してほしい／まちづくり活動に特化したNPO法人（町がフォロー）に一部運営を任せる／民俗資料館を他施設へ移動させて利用可能スペースを増やす／利用率の低い部屋を就学前のこどもと保護者のコミュニケーションの場や、悩み相談の場に／ネット社会で本の必要性は？／図書館はバックの持ち込みが禁止のため勉強がしづらい／町民の集う場として空いたスペースの開放／調理室は公民館にあるので不要／移動図書館は必要か／ ○ 審議員 まちの施策との連携（他部署との連携） |
| (4) 現行通り | 4 | ○ 町民評価員 経過観察が必要／図書館の蔵書は立派で内容も悪くない／大幅な見直しは必要ない／ |
| 全体を通しての意見等 ○ 町民評価員 ハード面ばかりで運営テーマがない／運営ビジョンが必要／市民センター的機能、まちづくりの視点が必要／利用団体のメンテナンスと拡大方策／利用データの収集システム構築が必要／企画運営指向が希薄／地方都市の人口集積地は、駅でも図書館でもなく商業施設／カウベルホールを廃止し、まなびタウン、分庁舎のホールを使うべき／各部屋をもっと利用してもらうよう意見を聴くべき／駅と直結していて便利／図書館は県立図書館等と連携し図書の入替、配送等の効率化／役場担当者の答えが分かりにくい／町外利用者が多く、町外者の利用料の値上げ／地域との連携が大切で行政による企画立案が必要／各部屋の利用状況の把握と対策／町民が笑顔だったり、笑ったりできる施設となる企画を是非実施してほしい／「生涯学習」という目的だけでなく遊びの要素もあると駅直結のメリットも活かせる／構造が閉鎖的に感じるが、将来、改修時にはオープン化（窓の設置）による視覚的共有化をしてほしい／駅前（駅直結）というメリットを活かした利用拡大／コンパクトシティの観点から駅近くは中枢となるので将来的に町の機能として冗長化が必要／町外利用者が多ければ県に管理してもらう／施設の設備使用について再考すべき／汽車の待ち時間を過ごすスペース化／部屋の貸出しが主となっているが、駅前、図書館があるという点でのサブ機能に注目した運営を／駅周辺のまちづくりができていない／他の町に比べて駐車料（月額）が高い／図書館は古い本が多い／本が探しにくい／民俗資料館と図書館を関連付けるのは難しい／各部屋の活動が廊下から見れないのが、繋がりを断っている／図書館のお話会は、2、3組程度。職員は、一度、自分で音読をしてからしているのか／図書館の紙芝居の棚を活用しないとったいない（紙芝居の棚を使った読み聞かせなど、特別感を体験できると良い）／まなびタウンは人口に対して規模が大きすぎる／公民館での催し物が多い／調理実習室が、3Fにあるのは、調理材料の移動が大変ではないか／ ○ 審議員（外部有識者） 公共施設のインターネット予約・予約状況確認などができるシステム整備は不可欠／センター長は、利用・機能・満足度の向上のために現場で陣頭指揮を執れる者が行うべき／指定管理者制度の導入も視野に／まちづくりとの関連付け／立地を活かす／商店街との連携／ | | |